

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品

1. <宮城県 水産練製品 >  
製品の値上げをしているが、コスト上昇のスピードと上げ幅が大きく、回収しきれない。製品値上げをすればするほど、顧客離れにつながっているなか、スーパーは値下げ販売を始めている。
2. <埼玉県 清酒 >  
これから酒造りの本格的な時期になるが、原料の米価格が高騰しており、影響が懸念される。商品について、各蔵では10月より値上げを行う状況である。
3. <神奈川県 ひもの >  
輸入魚の一部が漁獲調整のため大幅な値上げがあるも、卸先との契約で売価の変更が出来ず苦慮しているとの声が上がっている。
4. <岐阜県 牛乳 >  
牛乳価格は価格転嫁が徐々に広がり、7月末に比べ8円程度の値上がりとなっている。今後、牛乳価格は価格転嫁が進み、徐々に上昇していくことが予想される。
5. <三重県 製麺 >  
外国人観光客など多くの方が訪れていることは外食や食品業界にとってはありがたく、今ではなくてはならない状況のように感じられる。
6. <香川県 製粉製麺 >  
令和7年10月期の輸入小麦政府売渡価格は4.0%の引下げとなった。原材料価格は引き下げられたものの、輸送費や労務費等のコスト上昇分を製品価格にどう反映するか不透明である。

#### 繊維工業

7. <秋田県 繊維 >  
受注量は前年並みであるが多品種少量生産の増加で採算性が悪化。原材料費、燃料費、人件費等の上昇分の価格転嫁を試みるも発注元の反応は厳しく、海外生産への移行の懸念もある。
8. <福島県 縫製 >  
来年の1月1日から、最低賃金が78円も上がるということで、取引先に工賃の値上げを依頼している。取引先も価格を上げると売れる枚数が減り、生産調整をしないといけなくなると言われている。
9. <群馬県 刺繍 >  
猛暑から消費者の衣類購入意欲が低下していることに加え、燃料費・人件費高騰の影響で収益確保が困難。刺繍によって付加価値や特別感を訴求する必要性を感じている。
10. <東京都 ニット製品 >  
慢性的な人手不足と原材料価格や人件費の上昇により、組合員の利益確保が困難な状況が続いている。
11. <和歌山県 繊維 >  
令和7年度も最低賃金が大幅にアップしたので、販売価格への転嫁と賃金の引き上げを行っていかなくてはならないが、消費者が納得して商品を購入してくれるかが気掛かりなところである。
12. <徳島県 縫製 >  
経営改善のためには縫製工賃の引き上げが不可欠。現在の工賃算出基準は、東南アジアの最低賃金で働く労働者による生産を前提としているため国内縫製工賃が上昇することは期待しにくい。

#### 木材・木製品

13. <秋田県 一般製材 >  
国有林のシステム販売が優先され、その他の原木販売が後回しとなっているため、原木流通量の減少で仕入価格が上昇し、収益性が悪化している企業が増加している。
14. <神奈川県 家具 >  
原材料価格の上昇までには価格転嫁が進んでおらず、取引条件、収益状況ともに依然厳しい状況である。見込みより最低賃金の上昇が大きく、人件費の上昇が懸念される。
15. <長野県 一般製材 >  
組合員だけでなく、資材の業者も高齢化、後継者不在での廃業が増えてきている。後継者の減少は今後業界にとって大変厳しくなると思われる。全国的に組合会員の減少が増加している様だ。
16. <岐阜県 家具 >  
組合員によりばらつきがみられたが、総じて売上は減少し、収益は悪化となり、大変厳しい状況が続いている。物価の高騰、消費者の購買意欲の低下が原因と考えられる。

17. <佐賀県 家具 >  
多くのコストが上昇する中で、さらなる人件費の上昇を我々小規模事業所がいつまで耐えしのげるのだろうか？価格転嫁をきちんとしても売れなければ意味をなさない。
18. <鹿児島県 木材・木製品 >  
物価高騰が続く中、コストに見合う価格転嫁が難しいとの声があがっている。下半期は実需回復を期待したいところであるが、先々が懸念される。

#### 紙・紙加工品

19. <北海道 加工紙 >  
シート・板紙・段ボール製品・紙器製品の大手メーカーからの値上げが出揃った。ただ製紙の値上げが決着していないようで動きようがない。大手グループの動き次第で流れが決まりそうである。
20. <茨城県 段ボール >  
中小企業の取引先は規模が小さく製品の値上げが出来ていないことが推測され、取引先の収益の悪化を心配している。来月からは最低賃金の上昇により収益に影響がでることが予想される。
21. <愛知県 紙器・段ボール >  
物価高のため買い控えがあるのか、土産物需要が落ち込んでいる。10月からの原紙価格上昇がどのように影響するのか気掛かりである。
22. <岐阜県 紙加工品 >  
物価の上昇に加え、最低賃金の引き上げによる固定費の増加により、収益はどの組合員も悪くなっている。価格転嫁の動きもあるが、単独で動くとは仕事が無くなるため、我慢している状況である。
23. <愛媛県 紙製品 >  
物価上昇の中、ムダ、ムリ、ムラは省かれ、社交辞令的なものはどんどん減っていくことが見込まれる。年賀状仕舞い、挨拶状仕舞い、インターネットへの転換が進み、需要は減少の一途。
24. <高知県 手すき和紙 >  
原材料・諸経費の高騰は続いており、販売価格への転換も一向に落ち着かない状態であり、消費者の購買欲もきびしくなっている。情勢も不安定な状態が続いており、まだまだ厳しい状況である。

#### 印刷

25. <栃木県 印刷 >  
引き続き需要低迷のもと、用紙価格の再値上げの気配及び人件費の高騰による利益確保に苦労している。各社それぞれ関連需要開拓などにより増収を図っている。
26. <滋賀県 印刷 >  
10月から資材値上げが示唆されており、最低賃金の上昇も不安視される。印刷物の長期的な需要低迷が続くなか、値上げに踏み切れない実情もあり、小規模事業者の経営を圧迫するのは必至。
27. <京都府 印刷 >  
価格転嫁は進んでいるが、資機材の値上がりと同等までは難しい。最低賃金対応も進んでいるが、経営への負担は免れられないという声もある。
28. <奈良県 印刷 >  
慢性的な人手不足が続いてるが、業務量に繁閑の差があることから、雇用形態は非正規雇用が中心となっている。
29. <徳島県 印刷 >  
原材料費や人件費の上昇のため製造コストが上がり、なんとか価格転嫁を受け入れてもらえるよう要請はしているがお客様自身も厳しく、希望する価格までは受け入れて貰えない状況である。
30. <宮崎県 印刷・同関連 >  
10月より洋紙値上げが実施される予定。商品価格の大半を占める紙代は利益率に大きく影響し、原料費高騰による価格転嫁が終えたばかりでの値上げであるため組合員は非常に困惑している。

#### 化学・ゴム

31. <富山県 医薬品 >  
原料や燃料費の上昇が続く中、人件費の引き上げも加わり、収益を圧迫している。
32. <奈良県 プラスチック >  
依然として円安による材料費・エネルギーコストの上昇が利益率を圧迫し、厳しい状況が続いている。米国関税の影響が不透明な中、輸出・自動車関連では出荷の抑制が続く。
33. <大阪府 エロイドプラスチック製品 >  
販売価格の転嫁は進んでいるが、依然として人件費や原料費の高騰が続いているので、収益状況の改善は見られない。

34. <兵 庫 県 ゴム製品 >  
市場の動きは低調なまま。以前までは比較的好調だった商品群も売行きが鈍くなってきている。靴は季節商品であるが、春と秋が極端に短いこともあり、市場の回転も悪い。
35. <岡 山 県 ゴム >  
労務費の価格転嫁についてお客様と交渉中。昨年に比べ交渉はやや難航。改正下請法への対応については、詳細について未決定な部分もあり対応に苦慮。
36. <広 島 県 工業用ゴム製品 >  
従来製品は原価低減要求が続き収益性が低下しているため、脱スチール・樹脂化に対応した新技術開発と、生成AI活用による業務効率化が必要である。

#### 窯業・土石製品

37. <千 葉 県 生コン >  
原材料費、及び人件費の高騰が経営を圧迫しているため、生コン価格への転嫁が必要である。また、運転手の人手不足が問題化してきている。
38. <愛 知 県 生コンクリート >  
ここ毎月同様であるが、値上げは徐々に実施できているものの、原材料費・骨材の値上がりのスピードに追い付いておらず、価格転嫁は十分には実施出来ていない。
39. <岐 阜 県 陶磁器 >  
食器業界は納期が短い仕事で多忙な状態が続いている。中型事業所でキャパシティを超える状態になった時、小規模、家族零細事業所がオーバーワークでこなすケースも続いている。
40. <富 山 県 骨材・石工品 >  
燃料費、修繕費など製造コストの上昇が続いているため、令和8年度骨材価格について値上げを決定し、取引先に説明を行っている。骨材需要は、堅調に推移している。
41. <和 歌 山 県 セメント・同製品 >  
上期の出荷量は想定より約10%減となり、予想を上回る出荷量の減少がみられた。加えて原材料費の更なる値上げが控えるため、価格転嫁について具体的に検討する時期に来ている。
42. <佐 賀 県 製陶 >  
最低賃金が決定したが、伸び率の大きさによる影響を懸念している。資材高騰や価格転嫁に対する行政の支援体制には、経営への不安が和らぐ効果を実感しているという組合員の意見があった。

#### 鉄鋼・金属

43. <宮 城 県 機械金属 >  
国内外の不安定な情勢によって景気後退が懸念されるなか、10月からの最低賃金引上げ等によって中小企業は更に経営が圧迫され厳しい状況が続くと思われる。
44. <茨 城 県 鉄鋼 >  
最低賃金の大幅な引き上げが決まったことにより、加工賃の値上げを検討している企業が増加している。金属材料、工業薬品、燃料代を含む石油製品は高値を維持している。
45. <栃 木 県 金属製品 >  
自動車向け金型関連は全く話題が無く最悪の状況にある。自動車部品は先月に続き減産傾向にあり見通しも不透明である。
46. <岐 阜 県 金属製品 >  
自動車関連を含め、生産を維持していくための熟練者等の人材の確保が難しい。金属加工では、原材料費と人件費の高騰により、利益が薄くなっている。
47. <鳥 取 県 金属部品 >  
機械金属加工業者は、大手企業との直接取引が可能な事業者が少なく、価格転嫁が難しい状況にあることから、コスト管理の困難さが如実に表れている。
48. <福 岡 県 鉄素形材 >  
1社のみ好調だが、その他の会社は、低調で推移している。人手が足りないが、受注が低調なのでそれで丁度合っている状況。

#### 一般機器

49. <山 形 県 その他の電気機械器具 >  
半導体製造装置向け部品製造業では、売上高・売上数量・販売価格が上昇してきているものの、輸入に頼るシリコン等の原材料の価格が円安基調により高止まりしている。
50. <群 馬 県 はん用機械器具 >  
自動車部品関連製造業は、全体的な受注減少で厳しい環境下にある。一方、半導体関連製造業では、AI関連等半導体の活発な動きもみられる。

51. <新潟県 機械器具 >  
ものづくり企業を取り巻く環境は、米国関税の影響を始め、原材料やエネルギー価格の高騰、人材不足など、かつてない困難に直面している。私たちの環境は大きな変革期を迎えている。
52. <愛知県 一般機器 >  
懸念していた米国関税の件は、現時点では大きな影響は見られていない状況。ただ物価上昇は進んでおり、今後、収益を圧迫していくのではないかと心配をしている。
53. <三重県 一般機器 >  
最近海外から安価な部品が入ってくるため、新規の部品受注の獲得が難しくなってきた。政府からの賃上げ要請が続くと中小企業は更に厳しくなりそうである。
54. <石川県 繊維機械 >  
市場自体は比較的堅調に推移しているが、競合が激化しており、特に高付加価値のスパン関連分野では厳しい状況が続く。工作機械・産業機械分野では北米への生産シフトが進んでいる。

## 電気機器

55. <茨城県 重電 >  
最低賃金の上昇分が売値に反映されるまで時間を要するため対応が大変であり、組合員工場の現状を国・県等に理解してもらいたい。
56. <埼玉県 電気機器 >  
新規の仕事が増えたことにより、設備操業度が上がり、売上の増加につながった。ただし、人員の手当てがされておらず、課題となっている。
57. <山梨県 電気機械器具 >  
半導体業界はAI関連を除いて低迷、半導体製造装置も来年まで低迷が続く見通し。一方で防衛関連の業界は堅調で見通しも明るい。
58. <愛知県 配電盤 >  
「価格転嫁」に悩んでいた業界だが、ここに来て「価格転嫁」がすんなりできる状況になってきた。他業界、強いては日本全体が物価上昇で価格転嫁が認められる状況になっている。
59. <三重県 電気機器 >  
半期末の月であったが受発注は期待したようには動かず、夏の光熱費はデマンドで15%アップと大変な思いをしている。半導体に対する発注は悪くなっている。
60. <富山県 電子部品・デバイス・電子回路 >  
自動車向け部品の受注が若干減少するとの情報があり、米国関税措置の影響が表面化してきた可能性があり、今後の動向に注視が必要である。

## 輸送機器

61. <愛知県 輸送機器 >  
原材料高が進む中、不透明な海外・国内経済の動向の影響を受け、悪化となる。米国関税政策を受け受注の減少が進む一方、価格転嫁が少しずつではあるが進んだ。
62. <岐阜県 輸送用機器 >  
需要回復に伴って仕事量は着実に増加し、さらに価格転嫁の進展も加わり、売上高は堅調に拡大している。今後の需要増加に対応するための人材確保には強い危機感がある。
63. <島根県 自動車部分品・付属品 >  
自動車以外では前年比売上は増加した。自動車関連の受注数量が落ち込んでいるので今後も注視していく必要がある。引き続き価格改定と新規受注に向けた営業を行う必要がある。
64. <山口県 鉄道車輛・同部品 >  
10月からの最低賃金の急激な上昇による人件費や原材料費・電気料等の高騰、および借入金の金利上昇もあり、収益面でも厳しい状況が続く見通しである。
65. <愛媛県 造船 >  
外国人職員の比率が高くなっており、企業全体の雇用人数も増加となった企業が多い。労働力確保のため特定技能や技人国ビザ等の就労ビザでの受け入れが増加している。
66. <大分県 造船 >  
売上は工事量の増加で増えているが、それに伴う人員増加、賃金アップにより経営状況は苦しくなっている。

## その他の製造業

67. <秋田県 曲げわっぱ >  
外注費の大幅値上げが続く負担増となっているが、現時点では商品価格への転嫁など企業努力で対応している。一方で、卸売経路を避け、直販やふるさと納税に販路をシフトする動きがみられる。

68. <東京都 スポーツ用品 >  
キャンプ用品市場（登山用品、ウェア、シューズを除く）は、コロナ禍の「特需」以降、緩やかに下降している状況。中古品市場の需要が好調である。
69. <石川県 プラスチック製品 >  
人手不足や人件費の上昇、設備投資のための資金調達難が大きな課題となっている。省力化・省人化の必要性は認識されているが、資金確保が困難であり、補助金申請の手続負担も重い。
70. <兵庫県 その他 >  
釣具業界は相変わらず良くない状況が続いています。記録的な暑さ、大雨、釣り場の減少、米国関税等の様々な要因が相俟って釣針製造業界も売り上げの低下が顕著である。
71. <岡山県 畳 >  
先月に続き仕事量はもちろん少ないですが、熊本産地の水害でイグサ農家の在庫及び機材に大きな被害が出ている。今後の供給に甚大な影響が見込まれる。
72. <香川県 綿寝具 >  
暑さが厳しいため寝具関係の消費は良くない。業務用布団も減少傾向にある。

## 《非製造業》

### 卸売業

73. <宮城県 鮮魚 >  
商材や人件費などの価格高騰が止まらず、価格転嫁しきれない水産事業者から廃業の声が多く聞こえてくる。
74. <茨城県 米麦 >  
令和7年産の米の集荷が最盛期となり、取扱数量は増えたものの価格高騰により、販売状況の悪化や金利上昇などにより厳しい状態となっている。
75. <山口県 各種商品 >  
物価の高騰により、それに見合う収益の上昇にならない。原材料等、様々なものの値上がりにより、売上も伸び悩む状況が継続している。その打開策を模索しているが、よい方法が見出せない。
76. <高知県 各種商品 >  
人員の確保が難しい中、物価高により基本給アップが十分に出来ない会社が多く、悩ましい状況。景気回復は感じられない。温暖化、物価高など環境変化が激しく対応が困難である。
77. <熊本県 各種商品 >  
組合員の業況に大きな変化はないが、どの業種も商品仕入価格の上昇と人手不足による人件費増が収益減少の背景となっている。
78. <宮崎県 各種商品 >  
大手の支払受取サイトが短縮されたことで、資金繰りに多少の余裕が生まれつつあるが、全ては短縮されていないため、下請けが追随すれば借入金返済も進展すると考えられる。

### 小売業

79. <北海道 燃料 >  
気温が高いこともあり、販売数量、金額が極端に減少している。エネルギー業界の経営状況は本当に厳しい。
80. <青森県 食料品 >  
9月も記録的な暑さが続き、来店客が減少。インストアよりも、テイクアウト、注文配達の仕事が増加。新米の加工品の値段が2倍程度上昇。今後も米、農産物の値段の動向を注視したい。
81. <岩手県 食肉 >  
豚肉相場もようやく安値安定となり、食肉販売店は利益確保ができる状態となった。一方、鶏肉は依然として高値が続き苦慮している。
82. <山梨県 飲食料品 >  
暑さによる食欲不振で需要減少が起きており、前年同月と比べ売上は▲8.7%、収益状況は▲5%となった。シャインマスカットは安値で推移し売行き順調である。
83. <富山県 ショッピングセンター >  
最低賃金改定などによるコスト増に加え、消費者の物価高に対する生活防衛的な節約志向がかなり強くなっており、売上と収益など業績に影響が出ている。
84. <滋賀県 茶 >  
1番茶、2番茶の高騰を受け、大産地では3番茶、4番茶、秋冬番茶ともに大幅な仕入価格の暴騰があり、秋冬番茶に関しては前年比300%から400%と異常な取引が続いている。

## 商店街

85. <福島県 商店街 >  
10月の製品一斉値上げ前の駆け込み需要か、売上の減少は下げ止まった。
86. <三重県 商店街 >  
9月に入り、訪日観光客も徐々にではあるが見受けられるようになり、観光に携わる店舗等はそれなりの需要があり全体的には回復傾向にある。
87. <石川県 商店街 >  
インバウンド観光客の増加が顕著であり、外国人客を主な顧客とする店舗では売上が堅調に推移している。
88. <山口県 商店街 >  
野菜の入荷が減少し価格も上昇しているため、冷凍野菜に需要が流れており、売上が減少している。物価の上昇率が大きく、買い控えも起きていると思われる。
89. <香川県 商店街 >  
買い控えが現実問題化してきた実感がある。本格的に物価高が商業環境に悪影響を与えている。
90. <鹿児島県 商店街 >  
人手不足・賃金の上昇・物価上昇などが重なり、個店では対応できない状況になりつつある。ドラッグストアは、インバウンド特需により売上が20%以上増加するなど恩恵を受けている。

## サービス業

91. <山形県 美容 >  
美容業は材料費等の高騰により売り上げは増加又は不変でも収益効果は減速している。価格転嫁が容易でないため減収の一因となっている。
92. <愛知県 遊技 >  
新機種が多く登場しているものの、単価が高く、ホールの負担がその分増えることとなるなど、全体としては厳しい状況にある。
93. <石川県 旅館・ホテル >  
円安などによる物価高が続き、国内観光客は厳しい状況が続く。一方で、インバウンド客は回復しており、秋に向けて期待が高まる。
94. <福井県 喫茶 >  
仕入れは全体的に高くなっているが、価格上昇分についてメニューへの価格転嫁は追いついていない。特売利用など買い方を工夫して対処することで精一杯である。
95. <大分県 旅行 >  
宿泊施設の値上がりりが尋常ではなく、包括旅行代金の値上げの原因になっている。物価高で家計を圧迫している状況で、少しでも安い宿泊施設をWEBで探すのが当たり前になってきている。
96. <沖縄県 自動車整備 >  
価格転嫁は進めているが大きく変化させるのは難しい。転嫁幅が小さいと何度も値上げをしなければいけないので困る。

## 建設業

97. <東京都 通信工事 >  
売上高は増加しているが、人件費・燃料等のコスト上昇分を価格転嫁出来ず収益を圧迫している。支出を抑制したいが、単価が高騰しているため難しい状況。
98. <新潟県 左官工事 >  
仕事量が減少していても、労務費や経費を削減せず単価に転嫁していきたいと考えているが、元請の理解を得られないケースが多く、思うようにいかないのが現状である。
99. <山梨県 鉄骨・鉄筋工事 >  
全体的に仕事量が少なく、材料高騰により契約金額が折り合わず延期となる物件も見られる。その影響で購買意欲が弱く、H形鋼など材料価格の下落が見られる。
100. <静岡県 職別工事 >  
米国関税の影響か、製造業を中心に設備投資の延期がここに来てかなりの影響が出ている。物価高も相まって、着工マインドが非常に低下しており、年内はかなり厳しい状況が続く。
101. <滋賀県 板金工業 >  
原油高による流通コスト、金属系原材料や仕入れ価格の高騰分を販売価格に転嫁すると高額になるため失注することが多く、工事受注量は減少し厳しい経営状況が続いている。

102. <佐賀県 鉄構 >  
全国的に鉄骨需要の低迷が継続しており、仕事量の確保が重要な課題となっているが、ゼネコンの指値攻勢が強まっており、受注単価が下がっている。

### 運輸業

103. <埼玉県 運輸 >  
価格転嫁と仕入高騰の均衡は保たれつつあるものの、ドライバー不足はさらに深刻になり、経営の足かせになっている。
104. <新潟県 一般乗用旅客自動車運送 >  
週末には町の人通りが回復するが、平日はそれほどでもなく、全体としてはタクシー利用は低迷した。大幅な最賃引き上げの答申が出され、今後の会社経営を懸念する声が聞こえ始めている。
105. <長野県 道路貨物運送 >  
9月は上期末で荷動きは前年並みでしたが燃料・車両・修繕等のコスト高の影響で収益状況は悪化している。
106. <山梨県 道路貨物運送 >  
燃料価格が高止まりしている一方で、運賃は据え置かれている。残業規制や貨物自動車運送事業法の改正など対応が必要な課題が山積しており、今後も厳しい経営状況が続く見込み。
107. <島根県 道路貨物運送 >  
最低賃金の大幅改定により人件費負担が増加し、ドライバーの待遇改善が求められる一方で、経営体力の乏しい事業者にとってはドライバーの採用や維持確保が一層困難となっている。
108. <長崎県 運送 >  
物流コストの上昇分を運賃に転嫁出来ておらず、荷主に対して交渉を継続して行く必要がある。年度末にかけては荷動きが悪い状況が改善されていくと思われる。

### その他の非製造業

109. <群馬県 砂利採取 >  
出荷量は減少しているが、民間・公共工事需給の端境期によるものと考えている。価格交渉は一段落したが、物価上昇分までは吸収出来ていない。
110. <神奈川県 質屋 >  
金地金価格の更なる高騰により、金製品の買取や質入れが増えている。
111. <滋賀県 砂利採取 >  
当組合では昨年9月に値上げを実施していることから、価格上昇に伴う売上増加は今後見込めない。原材料（原石）調達については、引きつづき良質な原材料確保の為、積極的に仕入の方針。
112. <奈良県 質屋 >  
金価格はさらに上昇し、史上最高値を更新した。ブランドバックや高級時計は、インバウンド需要の減少による市場の鈍化で下落傾向が続いている。
113. <兵庫県 物品質貸 >  
パートタイム社員の人材確保に苦しんでいる組合員がいる。ここから年末にかけて、10月の賃金変更もあり、より短い時間しか働けなくなる。早めのさらなる人材確保が必須である。
114. <広島県 不動産 >  
不動産市場では人材不足で新築工事が遅れ、戸建・共同住宅の販売が減少している。新築マンションは土地・建築コスト上昇で価格が高騰し、専有面積縮小で対応するも売れ行きは鈍化。